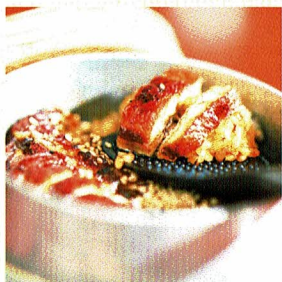


# WELに暮らそう

WELBOX

2025 SPRING



# 春の ズし 当地 旅

WELトレンドスポット  
大阪特集  
新連載  
ぽんレポ

LINE公式アカウント 友だち募集中  
Instagram公式アカウント フォロワー募集中



超  
すて得!

ハーゲンダッツ他  
アイス(全22個)

通常  
価格 5,000円が  
**2,600円**

4月1日から施行

# 両立支援へ向けた2つのポイントを知ろう！

{ ここが変わる! }



## POINT 1 介護離職防止へ雇用環境が整備されます！

個別相談・面談が  
気軽にできるように！

- ・相談窓口の設置
- ・支援制度の個別周知

介護休業や両立を支援する制度への申し出をしやすくすることが目的です。介護に直面した場合、介護休業や支援制度の内容、申請先、介護休業給付金に関する事など、両立へ向けた個別の相談や面談ができます。早めの相談が誰でもできる両立のコツです。介護に直面して慌てる前の段階から積極的に相談しましょう。



## POINT 2 両立へ個別の周知・確認が義務化されます！

社内の制度や周りの  
事例を教えてくれる！

- ・事例の収集と提供
- ・制度に関する研修の実施

介護に直面して不安な場合、自社内で両立している社員の事例、制度活用の具体例を共有することで当事者は打開策を見出せます。介護保険料が給与天引きとなる40歳前後から、休業や両立支援の周知を図ることで、全社的な両立への意識改革が進みます。会社ごとに多様な取り組みがありますので、まずは担当部署に連絡を。

### 相談や情報の収集は、両立に向けて！

介護離職をした人の多くは、支援制度の周知や研修、相談窓口の設置が仕事の継続(介護との両立)に必要と求めています。一方、制度を理解しても「自分(と家族)で

介護する」という意識を変えなければ、結果として休業→離職につながるリスクも。相談や情報はあくまで両立のためにある、という意識をもちましょう。

2021年 厚労省が民間委託し、介護離職した人に聞いた調査 ※複数回答

支援制度の個別周知	55.1%
相談窓口の設置	33.7%
支援制度に関する研修	31.7%

出典：厚生労働省

WEBで介護記事・コラムを読んで



ボタンを押して WELコインをGET!

こちらからチェック!



介護ナビはこちら!



### ■仕事と介護との両立を支援する記事を掲載中!

仕事と介護との両立ってなにかから始めればいいのか? 会報誌介護連載でお馴染みの川内潤さん監修の介護ナビでは、最初の一歩をわかりやすく説明、ナビゲートいたします。

## (育児・介護休業法が改正!)

# 賢い制度活用で仕事と介護の両立を目指そう

介護離職の防止を目的に、この4月1日から施行される法改正の要点を知っておきましょう。

### 攻めの介護環境整備へ企業の取り組みを後押し

ビジネスパーソンの皆さんにとって介護を自分と家族だけで抱え込んで離職——こうした事態は、企業の存続にも関わる問題と言わざるを得ません。今年の改正の背景には、介護休暇の取得率がなかなか上がらず、公的支援制度への知識も十分普及していないそんな現状があります。改正の要点は左ページにまとめ

### 両立により個人の成長と持続可能な経営を実現

周知の点では、介護に直面する前(40歳前後)からの情報提供を義務付けるなど、誰もが介護を自分ごととして捉えることも目的のひとつ。いずれも、仕事との両立の実現だけでなく、社員には介護経験を通じビジネス面でのさらなる成長、会社側には持続可能な経営をもたらすなどのメリットがあります(下図)。これを機会に、ぜひ前向きに考えてみてください。

めたように、介護離職防止のための①雇用環境整備、②個別の周知・意向確認が大きな柱となっており、いずれも「義務」とされているのが大きな前進。しかも介護休業について、本人が介護するためではなく、あくまで介護体制を構築するためにある点の周知を勧めるなど、仕事との両立実現へ向けた配慮がなされているのも注目です。



プロが解説!

介護  
Nursing Care

### 働きながら介護をすることの効果

個人	会社・組織
介護をアウトソースすることで持続可能な介護体制につながる	幹部人材の流出防止ができる
被介護者の理不尽とも思える発言の裏に隠れた想いを受け取る癖がつく	仕事をシェアするきっかけづくりとなる
安心して任せられる介護体制づくりで子がヤングケアラーになることを防ぐ	組織へのエンゲージメント向上に寄与する施策になる

個人にも会社にもメリットが多い

NPO法人となりのかいご 代表理事

川内 潤 Jun Kawauchi

上智大学文学部社会福祉学科卒業。老人ホーム紹介事業、外資系コンサル会社、在宅・施設介護職員を経て、NPO法人「となりのかいご」を設立し、現職。ミッションは「家族を大切に思い、一生懸命介護するからこそ虐待してしまふプロセスを断ち切る」こと。

『わたしたちの親不孝介護  
「親孝行の呪い」から自由になるう』  
川内 潤 著 + 日経ビジネス編集

「介護は、親との距離を取るほうがうまくいく」「親孝行のつもりで介護をすると、親も自分もだんだんつらくなる」異色の介護本『親不孝介護』(川内潤、山中浩之)の刊行から1年。じわじわ支持が広がる目からうろこの介護の考え方、その続編が登場!

